

第23回汚職防止刑事司法支援研修（オンライン実施）
「高度情報化・国際化社会における汚職の新たな脅威とその対処」

1 日程及び参加者

- 令和3年9月22日（水）から同年10月18日（月）まで
- 海外参加者20か国28名

2 研修概要

本研修では、高度情報化・国際化社会における汚職を効果的に発見・摘発し、捜査、訴追、処罰するための方策を主要課題とし、特に、①電子的証拠の発見・保全・収集・分析・活用、②効果的な端緒の把握と証人・内部通報者の保護及び③国際協力の3点の方策について集中的に議論します。

3 研修実施方法

新型コロナウイルス感染拡大状況に鑑み、国際研修として初めてオンライン形式により実施します。具体的には、講義は、研修員のいる国の時差や勤務日等を考慮し、主に事前収録したオンデマンド配信を活用した上、質疑応答をライブセッションで実施するほか、時差帯に応じた班分けによるグループワークセッションにおいて個人発表と討議を行い、個々の参加者によるアクションプランの作成と発表を求める予定です。

4 客員専門家等

本研修においては、アジ研教官による講義のほか、以下の客員専門家・外部講師による講義を行う予定です。

【客員専門家】

- トーマス・シャラ・ドハティ氏
米国司法省 中央・東・南ヨーロッパ地区 国際サイバーハッキング・知的財産部門 法律顧問
- ラム・ソーキン氏
シンガポール汚職捜査局 捜査部副部長
- ロビン・リー・エンテック氏
シンガポール汚職捜査局 捜査部副部長 デジタル技術室長

【外部講師】

- 蜂谷憲一氏
警察庁生活安全局情報技術犯罪対策課 課長補佐